

## 洋上等風況観測手法

(株) 建設技術研究所

### □観測手法

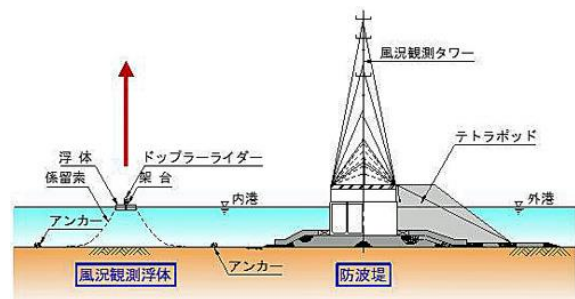
	分類	設備等	設置事例	コスト
①	着床／ 直接・間接	洋上風況観測タワー	北九州、銚子沖、福島沖	2～4.5 億円程度※1
②	浮体／間接	浮体式洋上風力観測システム	アメリカ、ベルギー、カナダ等海外での導入が先行。国内では実証実験・研究段階（秋田県能代港等）。	1～1.5 億円程度※2
③	陸域／間接	陸域からの洋上風力観測システム	神栖市沿岸	0.1 億円程度※3
④	陸域／直接	風況観測タワー	陸上における風力発電事業では採用されるケースが多い	0.1 億円程度※4

※1 「洋上風力発電の計画・建設・運開・メンテナンスに係る費用等（足利工業大学渡邊文人ほか）」による欧州事例からの概算費用

※2 事業者聞き取りによる概算費用

※3 事業者聞き取りによる陸域へのドップラーライダー設置の際の概算費用

※4 「風力発電フィールドテスト事業（高所風況精査）」（NEDO）等における一基あたり想定費用



出典) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 HP

出典) 株式会社大林組 HP

①洋上風況観測タワーの例（銚子沖）

②浮体式洋上風力観測システムの例（秋田県能代港）



出典) 日本気象株式会社 HP

③陸域からの風力観測システムの例（茨城県神栖市沿岸）



出典) NEDOHP

④陸域の風況観測タワーの例